

奄美大島海域における地域情報

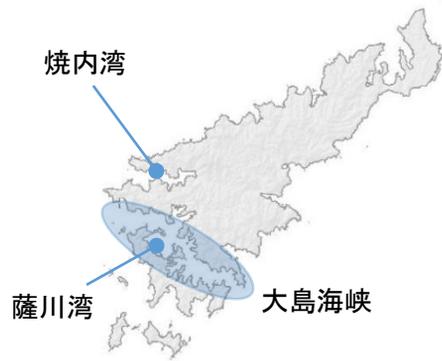
各港に港則法第39条第4項に基づく避難勧告が発せられるとき、下記区域内での錨泊は、原則できませんので注意してください

港	避難勧告	対象船舶及び措置
 名瀬港 奄美大島 古仁屋港	風速25m/s以上の暴風域が名瀬港に接近することが予想される場合など	総トン数500 t 以上の船舶は、港外避難
港	避難勧告	対象船舶及び措置
 瀬戸崎 赤崎 古仁屋港港域	風速25m/s以上の暴風域が大島海峡等に接近することが予想される場合など	総トン数1,000 t 以上の船舶は、原則として瀬戸崎南端から赤崎南端を結んだ線より沖合に避難

奄美大島海域の特徴

奄美大島で船舶の避泊に適している箇所としては、焼内湾、大島海峡や薩川湾がある。その他、奄美群島内には奄美大島を除き台風避泊に適した場所はない。

避泊地	避泊海域の特徴
焼内湾	奄美大島北西岸の西端付近にある湾で、幅約0.4~1.3海里で東方へ約6海里入り込んでいる。 この湾は高い山脈に囲まれ、湾岸は一般に水際から急に険しい崖になっていて、湾内は狭く水深も深すぎるので大型船の錨地としては不適當である。 湾の中央付近には南北に横断する海底線が、また、湾奥部には養殖施設がある。



避泊地	避泊海域の特徴	避泊地	避泊海域の特徴
薩川湾	大島海峡の南西部にある比較的大きな湾で、海峡を挟んで久慈湾（湾内沿岸に養殖施設があり錨地としては適さない。）と向かい合っている。 この湾は、各方向の風をよく防ぐが、水深が深すぎるため小型船の泊地としては不適當で、主に総トン数10,000 t 級までの大型船が台風の時などの避泊に利用している。 湾内の沿岸一帯に養殖施設がある。	大島海峡	奄美大島南西岸と加計呂麻《カケロマ》島の北東岸との間の海峡で、長さ約13海里、幅約0.5海里~2海里の海峡である。この海峡は、台風時の良好な避泊水域であるが、久慈と古仁屋の前面以外は、いずれも狭いうえに水深が深すぎるため錨地の選定に当たっては注意を要する。 この海峡の両側には、多数の養殖施設がある。

各種お問い合わせ先	走錨事故防止対策について	第十管区海上保安本部 交通部 航行安全課	TEL 099-250-9800
	名瀬港の避難勧告について	奄美海上保安部 交通課	TEL 0997-53-5569
	古仁屋港の避難勧告について	古仁屋海上保安署	TEL 0997-72-2999